

第1号議案

認定・横須賀市指定 NPO 法人
横須賀国際交流協会

令和5年度事業報告

〔自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日〕

〔ミッション〕

横須賀市の都市像「国際海の手文化都市」の実現を支援するために、市民の国際感覚を高め、市民レベルの多文化共生社会をめざす国際交流事業を推し進めます。

- 【1】 自国の文化を知るとともに、多様な文化への理解を深め、多文化共生の街づくりをめざす。
- 【2】 すべての人々の人権が尊重され、一人ひとりが大切にされる社会づくりに貢献する。
- 【3】 各人がもつ能力や経験を生かし、夢があって、ワクワクして、躍動感があり、明るく楽しいボランティア活動ができる場をつくる。

〔事業概要〕

- 【1】 会員を大切にされた協会運営を心がけ、ミッションの実現をめざし、一つひとつの事業を遂行した。

登録状況：【個人会員】359人（正会員288人・家族会員1人・準会員70人）

【団体会員】 13団体 【賛助会員】 19団体

- 【2】 会員のボランティア参加登録を勧めると同時に、ボランティアが活動しやすい環境作りを考慮し、適切な活動の形式を模索した。
- 【3】 会員相互の交流を深めると同時に、会員のみならず広く市民に対しても国際交流を行なう機会を提供するように努めた。
- 【4】 市民生活の安全を第一としてとらえ、特に外国籍市民の防災意識の啓発及び災害発生時の安全確保が行える体制を整備するよう市民と一体になって努力した。
- 【5】 認定及び市の指定資格取得により、寄付金獲得の活動を実施した。

I 運営業務

(1) 会議体

① 総会

5月27日（土）第21回通常総会開催。

第21回通常総会は、コロナ発生から数年ぶりに対面形式で開催した。

会場出席者15名及び議決権行使書による出席者137名、合計152名の審議により、令和4年度事業報告及び決算報告、令和5年度事業計画及び活動予算、役員の新補充に関して提案通り可決された。

② 理事会

4月17日（月）理事・運営委員合同会議（定例総会、議案 他）、8月21日（月）理事・運営委員合同会議（各事業中間報告 他）、11月6日（月）理事・運営委員合同会議（令和6年度予算案 他）、1月15日（月）理事・運営委員合同会議（令和5年度収支予想 他）、3月11日（月）理事・運営委員合同会議（令和5年度収支予想、役員改選 他）を実施。

③ 運営委員会

協会の運営に関する事項を審議し、重要事項については理事会への提案内容を纏めその承認を求めた。令和5年度は5回、理事会と合同で開催した。

④ 事業執行委員会

理事、執行責任者、事業部門代表者などが参加。事業執行の円滑化を図ると共に事業の運営管理を行なった。令和5年度は4回開催。

(2) 認定資格取得と横須賀市の指定資格取得による義務業務

- ① 年度事業終了後、県NPO事務局及び横須賀市に、所定の書式に基づき、その事業年度の事業報告を作成し報告。
- ② 定められた書類を作成し、閲覧希望者に対する公開措置を実施した。
- ③ 法人の情報公開性を高める為、定められた書式にてホームページ上に公開掲載した。
- ④ コンプライアンス（法令遵守）を徹底した。

II 事業

(1) 国際協力支援事業

① 自主事業

【窓口翻訳】

外国人、市民などから窓口にて依頼を受けた、戸籍謄本、結婚証明書、出生証明書などの行政書類の翻訳を行った。 90件 受益者70名/従事者4名

【通訳・翻訳】

横須賀市、企業などからの依頼による通訳・翻訳業務を行った。

通訳26件 受益者多数/従事者28名、 翻訳3件 受益者多数/従事者8名

【フェアトレードコーヒー販売】

事務局での袋売りのほか、日本文化体験教室やジャパンフェスティバルでホットコーヒーの販売を行った。 売上実績87,200円

【商工会議所パートナー事業】

商工会議所との連携を基に、関連する情報を共有化し、積極的にパートナー事業に協力した。このパートナー事業も11年を経過し、商工会議所の信頼も高く、大きな成果を上げているので、さらに連携を強化して業容の範囲拡大をすすめる。

② 受託事業

【外国人生活相談】

横須賀に在住・在勤・在学する外国人が、生活の場で出会う悩み、問題などの相談に応じた。相談は言語別に、曜日を決めて対応した。また、年に数回、横須賀市役所と追浜行政センターで出張相談を行った。 相談件数155件 受益者90名/従事者7名

国別では、フィリピン62件、日本20件、アメリカ12件、ペルー12件、ネパール11件、ベトナム9件、イタリア6件、中国4件、タイ3件、ブラジル3件、エクアドル2件、韓国2件、スペイン2件、フランス2件、インドネシア1件、エジプト1件、カメルーン1件、ポーランド1件、メキシコ1件

【日本語会話サロン】

横須賀市に在住・在勤・在学する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語会話能力を高めるため、会話サロンボランティアの協力のもとに、年間で336回の教室を開いた。子供対象のサロン「てらこやさん」を開講した。

1 学期（4～7 月） 受益者 112 名/従事者 84 名

2 学期（9～12 月） 受益者 112 名/従事者 90 名

3 学期（1～3 月） 受益者 96 名/従事者 87 名

・日本語指導講座「はじめての日本語ボランティア」：11 月 4、11、25 日（土）

講師を招き、日本語ボランティアに興味を持つ市民に「日本語支援活動の実際と指導のコツ」について講義をしてもらい、会話サロンボランティアの増員につなげた。

受益者 24 名/従事者 9 名

・指導者交流会：12 月 2 日（土）茶話会。異なるサロンのボランティア同士の親睦を深め情報交換を行った。

受益者 21 名/従事者 1 名

・子供サロン対象研修会

第 1 回 1 月 20 日（土）NPO 法人地球教室主催の子供クラス「地球っ子教室」見学

第 2 回 1 月 24 日（水）地球っ子教室運営者による座学 受益者 7 名/従事者 3 名

・学習会：6 月 3 日、10 日（土）かながわ国際交流財団による研修会

受益者 15 名/従事者 6 名

【外国人防災啓発事業】

災害時通訳翻訳ボランティア研修：3 月 3 日（日）

ジャパン フェスティバル イン よこすかを利用し、防災コーナーを設置。災害時通訳ボランティアも加わり、外国人へ防災に関する情報を提供した。

受益者 66 名/従事者 2 名

（2）国際協力交流事業

① 自主事業

【世界の料理教室】

世界各国の講師による家庭料理に親しみながら、様々な国の生活・文化・習慣などを学び国際理解の推進を図った。

第 1 回 6 月 27 日（火）中国料理（権 敏） 受益者 20 名/従事者 6 名

第 2 回 10 月 10 日（火）フランス料理（ニコラ・シャンデリエ） 受益者 19 名/従事者 8 名

第 3 回 2 月 8 日（木）ハワイ料理（オリビア・ラグア） 受益者 18 名/従事者 5 名

【キッズフェスティバル】

学生ボランティアが中心となり、日本人と外国人の親子が楽しみながら交流できるイベントを開催した。

10 月 15 日（日） 受益者 132 名/従事者 26 名

【日本文化体験教室（JFY）】

年 3 回開催。流派・教室・家元等の制度を越えて日本文化を紹介するグループが、横須賀市及び近隣に在住・在勤・在学する市民および外国人を対象に体験教室を 3 回開催した。このうち 1 回は規模を大きくし、「ジャパン フェスティバル イン よこすか」を実施し、日本人

と外国人の交流に重点を置いたイベントとして開催した。

- 第1回 6月10日(土) 受益者162名(うち外国人66名)/従事者他84名
第2回 11月18日(土) 受益者74名(うち外国人43名)/従事者他93名
第3回 3月3日(日)「第27回ジャパン フェスティバル イン よこすか」と合同開催。
受益者491名(うち外国人175名)/従事者他231名

【英語ガイドツアー】

英語でのツアーを開催し、外国人との交流を図った。

- 第1回 10月14日(土) 浦賀 受益者27名(うち外国人21名)/従事者7名
第2回 3月9日(土) 久里浜 受益者10名(うち外国人6名)/従事者8名

【ボランティア交流会】

コロナ禍を考慮し、開催しなかった。

【ホームステイ・ホームビジット】

今年は依頼が無かった。

② 受託事業

【姉妹都市交換学生派遣・受入事業】

交換学生の派遣

夏休みの期間中、約2週間、姉妹都市交流のあるコーパスクリスティ市(アメリカ)、ブレスト市(フランス)、メッドウェイ市(イギリス)に2名、計6名を交換学生として派遣した。派遣学生は国際理解を深めるとともに、姉妹都市との交流を通じて、姉妹都市やその国々との相互理解、友好関係を深め、ひいては、国際平和に資することを目的とし派遣した。横須賀市の親善大使として、ホームステイをしながら交流を深め、横須賀や日本の文化、魅力を各姉妹都市に発信するとともに、姉妹都市の文化、魅力を学び、横須賀市民に伝えることを今後の課題として活動を行なった。

交換学生の受入

夏休みの期間中、約2週間、姉妹都市交流としてコーパスクリスティ市(アメリカ)、ブレスト市(フランス)、メッドウェイ市(イギリス)、各都市から2名、計6名を交換学生として受け入れた。受入家庭は6家族。

姉妹都市の高校生が横須賀市で生活することによって、日本文化、横須賀の文化に触れると共に各自国の文化を紹介してもらい、帰国後は横須賀市を広く紹介してもらう。

又、ホームステイ受入の家庭には、姉妹都市の高校生との生活を通して多文化共生を体験し、市民レベルの国際交流の担い手となっていただけるようお願いした。

今年度はフリマントル市(オーストラリア)は不参加となった。

・姉妹都市交換学生プログラム写真展

- 9月11日(月)～9月25日(月) リドレ横須賀
9月15日(金)～9月28日(木) 横須賀モアーズシティ
3月28日(木)～4月11日(木) 横須賀モアーズシティ

(3) 国際協力啓発事業

① 自主事業

【外国語講座】

外国人とのコミュニケーションの基礎手段である外国語、とりわけ市民のボランティア活動に必要な高い英会話をはじめ、韓国語、中国語など多文化共生社会を視野に入れた外国語講座を開催した。

1 学期：講座数 15 クラス	受益者 121 名/従事者（講師） 10 名
2 学期：講座数 15 クラス	受益者 120 名/従事者（講師） 10 名
3 学期：講座数 15 クラス	受益者 119 名/従事者（講師） 10 名
出前英会話講座：ハッピープリスクール	受益者 15～20 名/従事者（講師） 1 名

【国際理解講座】

今年は依頼が無かった。

【情報紙発行】

ニュースポット：7月に75号を発行した。部数は1,000部。

1月に76号を発行した。部数は1,000部。

【メールマガジン】

8回の情報提供。会員に対して事業活動の案内などを速やかに連絡し、メールによる情報提供をタイムリーに行った。メールアドレスの無い希望者には、FAXや郵送で同じ情報を提供した。

【ホームページ】

ホームページの内容充実とメンテナンスを随時行い、常に新しい情報の提供を行った。

② 受託事業

【国際ユースフォーラム】

4年ぶりに対面形式で行われた。横須賀市派遣学生、ブレスト、メッドウェイ学生、伊東市派遣学生、市内高校生によるプレゼンテーション。姉妹都市やそれぞれの都市の紹介や意見交換を行い、相互理解と交流を深めた。

8月8日（火）横須賀市役所正庁

第1部：プレゼンテーション、スピーチ

第2部：ゲーム・交流会

受益者 41 名（外国人含む）/従事者 32 名

III その他の事業

楽しく学ぶ英会話

正式な自主事業にする前に、幼児と保護者を対象とした英語教室を試験的に開催した。

Play Play English（全6回） 受益者 15 名/従事者（講師） 2 名

PAPA MAMA English（全4回） 受益者 5 名/従事者（講師） 1 名

今年度は定款第5条第1項第2号に規定する収益事業は実施していない。